

ISK経営塾66期 講義キーワード

第5回

2005年6月13日(月)

◆前回講義キーワード

- 身と心は一つ。エネルギーの出る行動をする。言葉も常に前向きにしていく。
- エネルギーのあるところに人も金も集まる。リーダーが一番エネルギーを出す。
- 金持ちは朝起きて最初に感謝をする。貧乏人は朝起きて最初に不満を口にする。生きていること、仕事があることなどに感謝をしてパワーを出していく。
- 頭で考えてばかりいないで、具体的な行動変化を起こしていく。知っているというのも、行動し習慣になって初めて言えることである。
- 成功している会社・人をベンチマークして、違いの違いを明確にしていく。
- 勝っているレシピを手に入れて、守・破・離をして自分のものにして、勝つスピードを上げる。

- 小さな仕事、約束、気配りなどを大切にする。小さなことのできない人に大きなことはできない。
- 一事が万事。小さなことであっても、それによって会社や人全体の信念が透けて見えてしまう。
- 経営とは多答解である。うまい方法を探すのではなく、決断して行動していく。ダメだったら違う道に行けばいい。決断しないのが経営では一番の愚である。
- 探すのではなく、意思と戦略を創り込む。探していても人と同じことになってしまう。
- 今日の作業は経営ではない。目の前の作業をやるのではなく、未来への問題を構築していく。
- 価値をあげる。値引きしないと売れないのは、価値を提供できていない証拠である。
- 自分からみた価値（自己満足）ではなく、お客様から見た価値を創る。